

ちゅうぎん日本大型株アクティブファンド 愛称：**未来のゆめ**
追加型投信／国内／株式

日本の大型株は世界経済の恩恵を受けて成長しています

日本電産 (6594) 東証1部 業種：電気機器
2018年8月31日時点のマザーファンドにおける組入比率：6.5%

- ◆ 小型から大型までの各種モーターを開発・製造する総合モーターメーカー
- ◆ ハードディスクドライブに使用される精密小型モーターは世界一のシェア
- ◆ 日本電産のモーターは自動車・家電・通信・医療など身の回りのあらゆるモノに搭載
- ◆ カリスマ経営者のもと国内外で多くのM&Aを実施し企業規模を拡大



Point!

海外売上高比率 86%

海外M&Aが難しいといわれる中で
次々と成功を収めています

堅調な企業業績とともに株価も上昇しています

<日本電産の株価とEPSの推移>



EPS (Earnings Per Share) とは
企業が1年間に上げることができた利益（当期純利益）をその企業が発行する発行済株式総数で割ったものです。1株あたりの利益の金額を示す指標で、企業の1株あたりの収益力を表します。

出所：日本電産HP、Bloombergをもとに中銀アセットマネジメントが作成

上記は過去のデータであり、将来の市場環境の変動や運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、将来において当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。

ファンドのリスクについて

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「物価変動リスク」等があります。ファンドは、実質的に国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。したがって、**投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではありません。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者のみなさまに帰属します。**

ファンドの費用について

- 購入時手数料 / 上限2.16% (税抜2.0%)
 - 信託財産留保額 / 上限0.3%
 - 運用管理費用 (信託報酬) / 最大年率1.9008%程度 (税抜1.76%程度)
 - その他費用・手数料 / 監査費用、有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から支払われます。
- 手数料等については、当社が運用する投資信託のうち、当資料作成日現在で徴収するそれぞれの手数料等における最高または最大の料率を記載しております。

投資者のみなさまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間や運用状況などによって異なりますので表示することができません。ファンドに係る費用・税金の詳細につきましては、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

● その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定 (いわゆるクーリング・オフ) の適用はありません。ファンドは、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。また、販売会社が登録金融機関の場合、証券会社とは異なり、投資者保護基金に加入しておりません。

本資料は投資信託説明書 (交付目論見書) ではありません。お申込みの際は、必ず投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。